

POWER UP

INTERVIEW

ティー・ドライブ有限会社 代表取締役

竹野 潔 氏

時代を彩る名車の魅力を発信。 高い技術力と知識で信頼に応える



PROFILE

1966年生まれ、新潟市出身。北越高等学校を卒業後、新潟工業短期大学に入学。卒業後はトヨタカローラ新潟に自動車整備士として入社する。もともとクラシックカーに興味があったことから会社を退職し、24歳で岐阜県の株式会社プロオートに入社。クラシックカー、スーパーカーの整備技術や知識を学び、29歳で帰郷。1995年にティー・ドライブを創業する。

イタリア、イギリス、フランスなど欧州車のクラシックモデルから現行ニューモデルの修理・メンテナンスを行うほか、車輌販売も手掛けるティー・ドライブ。往年の名車をよみがえらせる技術や丁寧な整備、豊富な知識で、車を愛するお客様たちの信頼に応えています。



ティー・ドライブ有限会社

〒950-0036 新潟市東区空港西1-113-10

営業時間：9:00～18:00

定休日：日曜・祝日・第3月曜日

TEL：025-271-3201

<http://www.t-drive.co.jp/>

自分が良いと思う車、好きな車種をアピールしたい。その車をお客様に気に入っていただけたときは、とても嬉しいです



欧州車を中心に、さまざまな時代の車輛を取り扱う同社。ショールームにはフェラーリやジャガーなど世界中に多くのファンを持つ名車がズラリと並び、見ているだけでもワクワクしてくる。

起業を目指しクラシックカー・スーパーカーの整備技術と知識を習得

クラシックモデルや現行モデルの輸入車を中心に修理・メンテナンス、車輌販売を手掛けるティー・ドライブは、竹野社長が26年前に開業。「自動車会社の整備士をしていた頃は、趣味として自分が所有していたクラシックカーのメンテナンスをしていました。そんなとき、ある方の紹介でクラシックカーを扱う岐阜県の会社に何度か遊びに行くようになり、趣味ではなく本業にしたいという気持ちが強くなっていました。そこでその会社で勉強させていただくことにしたのです」と語る。クラシックカーを愛する先輩たちからの「新潟に戻ってきたら車の面倒をみてほしい」という声も後押しとなり、5年間でクラシックカーの整備技術や知識を習得。新潟に戻り一人で会社を立ち上げた。

内装、外装をバランス良く仕上げ 新車当時に近い姿に復元

新潟商工会議所職員との繋がりが以前からあったこともあり、開業時から気軽にいろいろな相談をしてきたという竹野社長。平成16年にはマル経融資[※]を利用するなど、そのときの経営状況に応じた支援やアドバイスを受けてきた。その中でこれまで大切にしてきたのは、「まじめに、ぶれずに本業を貫くこと。自動車以外の事業は行わない。自分が好きな車種以外をお勧めする事はありません」と語る。

また、経年劣化した車を一度分解し、修理をして復元する「レストア」にも定評がある同社。「新車当時に近い姿に戻してあげたい。車の修理はもちろんですが、見た目の美しさも大切。車の内装、外装どちら

らもバランス良くするということにこだわっています」。このような一貫した姿勢や仕事ぶりが評価を受け、今では県内各地や県外から多くのお客様が訪れている。

子どもの頃から憧れてきた 車の魅力を新潟から発信する

近年は若者の車離れ、自動車の電気化が進むなど、大きな転換期を迎える自動車業界だが、「子どもの頃から車に憧れてきたので、今後は車の魅力を何かの形で伝える活動ができればと思います」と竹野社長。ガソリンエンジンの車が減少し、機能性を追求する車が主流になっても、歴史のある車をできる限り大切に乗ってほしいという。

「クラシックカー・スーパーカーを扱う店は大都市圏に多いですが、今は新潟をはじめ地方でも物流は整備されているし情報量も多い。わざわざ都会に行かなくても車の購入やメンテナンスを受けることもできるので、そこは逆に地方ならではの強みになると思っています」。今まで培ってきた技術と知識をさらに進化させ、時代を彩る名車の魅力を後世に伝えていく。



*
マル経融資について
はこちら



知識豊富で技術力の高い丁寧な整備で、欧州車ファンのカラーライフをサポートしている。